

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ネパール

日付：2018年6月4日

報告書名：平成28年度 日本NGO連携無償資金協力事業 中間報告書

平成28年度 日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

2018年6月4日

事業名	ヌワコット郡、ラスワ郡の被災小学校における防災能力強化事業 Strengthening Resilience of Earthquake Affected Schools in Nuwakot and Rasuwa district, Nepal.
事業対象地	ネパール ヌワコット郡、ラスワ郡
事業期間	事業期間：2017年2月28日～2018年2月27日
公的資金種別	平成28年度 日本NGO連携無償資金協力
契約金・支出状況	契約額：495,197米ドル（支出額：246,530米ドル）
プロジェクト目標および、達成度	<p>本事業は「対象の小学校の防災レジリエンス（能力）が高まる」ことをプロジェクト目標とし実施されている。事業はほぼ計画通りに進んでいる。達成度は以下の通り。</p> <p>（ア）対象校（3校）が再建された学校校舎を利用している。）</p> <p>【2017年7月末時点での達成度】現在校耐震構造の校舎建設中であり、現時点では達成されていない。</p> <p>（イ）対象校（3校）の教員の50%以上がおはなし、ゲーム、教材制作、場づくりを実施している</p> <p>【2017年7月末時点での達成度】現在対象校の図書コーナーに配架する絵本の選定と防災教育教材の開発を行っている最中であり、現時点では達成されていない。今後は図書活動研修のパッケージ開発を行っていく。</p> <p>（ウ）対象校（3校）の50%以上が独自の学校防災計画を利用している。</p> <p>（エ）対象校（3校）の教員、学校運営委員会、地域住民、郡教育局の50%以上が防災に関する必要な知識を有している。</p> <p>【2017年7月末時点での達成度】現在は準備段階であり、現時点では達成されていない。今後防災教育研修パッケージの開発を行う。</p>
これまでの実施内容・状況	<p>（ア）教育省の耐震基準に準じた学校校舎の再建： ネパール政府復興庁の承認後、学校建設対象校の3校全てにて調印式を行い、建設を開始した。ラムチャンドラ小・中学校に関しては学校周辺の道路状況もよく、建設は予定よりやや早く進んでいる。シャンティ・デビ小学校は道路状況が悪いものの、建設はほぼ予定通りに進んでいる。シタ・ダルマ小学校に関しては、道路状況が悪く資材運搬が遅れ、工期に約4週間遅れが生じている。</p> <p>（イ）対象校の教員による図書館活動を通した子どもたちの心のケア、防災教育の実践： 学校建設対象校の図書コーナーに配架する絵本を選定するため、カトマンズの出版社、ネパール人絵本作家・図書館司書に対してネパールでの絵本出版状況に関する</p>

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ネパール

日付：2018年6月4日

報告書名：平成28年度 日本 NGO 連携無償資金協力事業 中間報告書

	<p>ヒアリングを行い、そこで得られた情報を元に、現在配架絵本の選定を行っている。防災教育教材の紙芝居作成は、紙芝居ストーリー・絵コンテ原案作成、業者選定が完了し、現在出版社と共にストーリー・絵コンテの最終版を作成中である。</p>
	<p>(ウ) 対象校における防災計画の策定： (エ) 対象校の教員、学校運営委員会、地域住民、行政職員の防災に対する理解の向上： 防災・減災に関する能力強化研修パッケージ作成の下準備として、防災教育教材の収集、現地職員・カウンターパート職員に対する防災教育研修を行った。</p>
	<p>(オ) モニタリング・評価： 学校建設に関してカウンターパート職員による週1回のモニタリングと、外部建設コンサルタントによる月2回のモニタリングを行い進捗状況の確認を行っている。</p>
課題と対応策	<p>国際 NGO の主務官庁である Social Welfare Council と結んだ協力協定書では、事業調整員の資格要件は大学卒であることが合意されていたにもかかわらず、同人のビザ申請をした際、修士号を取得していないことを理由にビザ取得のための推薦状の交付が承認されなかったため、事業調整員は駐在を続けることができなくなった。7月下旬に帰国し、8月より東京事務所において調整業務に従事することとなった。2018年1月上旬に再びネパールに駐在する予定。</p>